

交通運輸関連労働者対象、地方労働講座開催！



国劳東海

国鉄労働組合 東海エリア本部
 東京都区港区新橋5-15-5
 交通ビル7階
 発行責任者 植田 誠
 編集責任者 教宣部長



挨拶を行う、植田国劳東海本部委員長

6月12日、名古屋・労働会館東館ホールにおいて、一般財団法人・国労会館主催の労働講座が開かれ、「労働組合の任務・そして平和を考える」と題して安全と平和、労働組合の役割、佐藤比呂喜さんを講師に招き、講演をいただきました。

今回は航空をめぐる現状と労働組合の役割とともに安全・平和問題を改めて検証し、学習を深めるために地方労働講座を開催しました。

(485号は1面のみです)

名古屋・地方労働講座・東海本部委員長挨拶

国鉄労働会館は、公益事業の一環で、交通運輸労働者を対象に、労働者の相互親睦と福利厚生など社会的ニーズに応えた福祉の向上に努力を重ねるとともに、地方ローカル線（地方公共交通）の現状と課題・JRの施策と労働組合の役割と課題・交通運輸労働者をめぐる情勢・交通権などを中心に、憲法問題・平和・原発・老後の生活や年金問題・育児・介護・教育も問題など多岐にわたって幅広く労働講座を開催しています。

さて、2024年1月2日、羽田空港でJAL機と海保機の衝突し炎上する重大事故が発生し、海保機の乗員5名が亡くなりましたが、JAL機の乗員・客室乗務員は適切な判断によって負傷者は出たものの奇跡的に被害は最小限に食い止められました。JR東海を含む、JR各社でも将来の労働力不足や経営環境の変化に対応するためとして、デジタル技術の活用や業務効率化を推進し、省人化、合理化を進めています。公共交通機関の任務は、何と言っても「安全」を第一に、サービス・利便性の充実・向上、そしていつでもだれでも安心して利用できることだと思います。改めて、利用者視点はもちろん、そこで働く労働者視点からの検証が重要になっていきます。会社に対し、現場の声・利用者の声をまとめ、はっきりものをいう労働組合の存在意義が問われていますし、今日の労働講座で労働組合の果たす役割も学習し、今後の運動に活用していくことが重要になっていくと考えています。

本日は、航空をめぐる現状と労働組合の役割とともに安全・平和問題をあらためて検証すると題し、国土交通労組 佐藤副委員長を講師にお招きして、労働講座を開催いたします。

是非皆様のご協力で本日の労働講座が実のものとなって頂くことをお願い致します。

がん保険の枠を超え、一人ひとりに最適な安心を

保障と相談サポートで

あなたによりそう
がん保険
ミライト

No.1 アフラック
がん保険
契約件数
※社の総合保険数などに比べアフラック調べ(2024年3月時点)

アヘニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-1-5 交通ビル3階
Tel.03-3437-6810

アフラック
法人第二営業部
〒163-0456 東京都西新宿2-1-1 新宿三井ビル20階
Tel.03-6395-9829



講演を行う国土交通労組 副委員長・佐藤比呂喜さん